

# 田中家通信



全優匠 全国優良石材店

株式会社 田中家石材

VOL. 47

発行/株式会社 田中家石材  
住所/彦根市高宮町1-0-1  
電話/0749(24)58888  
HP: https://www.tanakaya-sekizai.com/  
Mail: info@tanakaya-sekizai.com



お正月はお盆と共に本来、歳神さま・氏神さま・ご先祖さまをお迎えし、楽しいひとときを過ごし、また帰っていくという日本古来の信仰に基づく行事です。

お正月に里帰りをされたときは、氏神さま・お仏壇・お墓参りをしましょう。

また、もうひとつ大切なことがあります。



中秋の名月の十五夜は中国から伝わった風習だそう。それに対して十三夜は、日本独自のものだという。

満月ではなく、満ちる寸前の月を愛でるのは、なんとなく日



母は厄年に生まれた私を橋のたもとに捨てたそうです。同じ町内の仲の良い友人と打ち合わせしていたので、すぐに母の元へもどされました。そうすることで厄を落としたといえます。

私が生まれ育ったところでの



お墓で蝶を見かけると、故人が成仏している証拠、または家族を見守りに来ているサイン、吉兆と云われています。仏教では極楽浄土へ魂を運ぶ神聖な生き物とされたりしています。

お墓を建てられて納骨をされるときに、蝶々がお墓の前まで飛んで来ることがよくあります。

蝶々の他にとんぼや黄金虫、虹色の玉虫が飛んで来たこともありましたが、十二月の寒い時期の納骨に赤とんぼが止まったと

それは、集まったみんなでお仏壇の前でいっしょに、おせち料理をいただき、その団樂の中で、それぞれが旧年の反省と新年の抱負や、近況を語り合い、日常の生活の中で話すことの少ないご祖先さまや故人の思い出話に花を咲かせ、共にお酒を飲み、食事をするのが供養になり、喜んでいただける大切なことだと思えます。

遠方で帰郷できない場合は、近隣の神社に初詣に行き、そしてお寺にお参りをして、ご本尊さまに手を合わせ先祖さまの往生を願い、日頃の感謝の気持ちを伝えましょう。



出来事です。物心がついて母から聞かされた時、母の元へ返されてよかったですと心底思ったものです。

町内の集まりでは、江戸幕府の第八代将軍、徳川吉宗も一度捨てられた話を長老から聞きまして。お陰で母は八十二歳まで生き、私は七十五歳の今も元気に過ごさせてもらっています。

新聞投稿より

本人らしい。これから満ちていく月に、より心ひかれる感性をもっていたのであろう。思えば、私たち夫婦も完全でなく足りないところだらけだ。だから、何とか一緒にやってこられたのかもしれない。そんなことを思いながら、これからもできるだけ補い合って生きていこうと月に誓った。

新聞投稿より

きは、本当に驚きました。お参りされる方は、ご先祖を前にして、故人に対する感謝と幸せを願うために手を合わせられます。その気持ちは必ずご先祖に伝わり子孫を守っていただけけると信じています。

## お墓の存在

お墓というと、亡くなった方のための場所だと思われがちです。しかし、日々さまざまな方のご供養に関わっております。お墓はむしろ、いまを生きる私たちの心、を静かに整えてくれる場所であることを感じます。

手を合わせるとき、人は少しだけ立ち止まり、忙しさの中で見失いがちな自分を取り戻します。

「あの頃はこうだったな」「今



今年五月、父が旅立った。九十歳で病を抱えていたため覚悟はしていた。使い込まれた父の財布から幼い兄や妹、私の写真が見つかった。六十年以上も前のモノクロ写真の数々。写真の裏には父の字で住所と電話番号、そして「これだけは返してください」と記されていた。短い言葉に家族への思いがにじむ。



先日、小学校の同窓会がありました。卒業して五十一年、男女合わせて十五人程があつまり、楽しい時間を過ごしました。その中で健康の話になり、高血圧・糖尿病等、何らかの病を抱えていました。

友人の一人が「今、ほとんどの方がお薬手帳を持っているよ

の自分はどうだろう」と墓前で交わされる静かな対話は、亡き人だけでなく、自分自身への語りかけでもあります。お墓を磨く所作もまた、心を磨く行いに似ています。手間をかけるほど不思議と気持ちが軽くなる。石は何も語りませんが、その沈黙こそが揺れがちな私たちの心を支えてくれます。お墓とは、家族の歩みをつなぐ大切な、心の居場所。その存在が、これからのご家族にも静かな安心をもたらしてくれることを念じています。

「普門寺住職 木本晃英」

その懐かしい文字を眺めていると、足が悪く自転車のうまく乗れなかった父が、兄の事故の報を聞くや否や、そばにあった自転車にまたがり不格好なまま坂道を駆けおりていくその背中がよみがえった。

もうすぐ父の誕生日。好物のあんみつを手にお参りに行こうと思う。

新聞投稿より



な」と言ったので「僕は持っているよ」と返事したら、みんな驚いていました。母親も九十歳になりますが、お陰様でお薬手帳は持っています。

私は最近特に食事に気を付けています。油ものを避け、魚介類と煮炊きものを食べるようにしています。ケーキやお菓子類の甘いものも控えています。健康年齢七十五歳と云われており、年を重ねると免疫力も衰えてきます。元気で長生きを目指したいと思えます。

## ほとんどの人が気づかない 実は幸せな人

- ① 両親の存在
- ② 自分を想ってくれるパートナーの存在
- ③ 本音を話せる友人の存在
- ④ 何事もない平穏な日々
- ⑤ 命があること
- ⑥ 自分が自由に使える時間やお金があること
- ⑦ 働く場所があること
- ⑧ 美味しいご飯を食べられること
- ⑨ 雨風をしのげる家があること

